

2017年度

(平成29年度)

事業報告書

2017年4月1日から2018年3月31日まで

(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)

学校法人 柳城学院

2017年度 事業報告書

《目次》

I. 学校法人の概要

1. 法人設置の目的・建学の精神
2. 学校法人の沿革
3. 設置する学校等・所在地・学科・
4. 役員（理事・監事）の状況
5. 評議員に関する事項及び顧問
6. 理事会・評議員会の開催状況
7. 教職員の状況
8. 校地校舎面積の状況

II. 事業の概要

1. 事業の概要
2. 学校の入学定員・収容定員・現員
 - ①附属幼稚園
 - ②短期大学
3. 短期大学卒業生の進路
4. 学納金
5. 教育課程に関する情報
6. 学修の成果に係わる評価及び卒業認定に当たっての基準に関する情報
7. 学生支援と奨学金

III. 財務の概要

1. 資金収支計算書
2. 事業活動収支計算書
3. 貸借対照表
4. 財産目録

I. 学校法人の概要

1. 法人設置の目的・建学の精神

「愛をもって仕えよ」(ガラテアの信徒への手紙 5章13節より)の言葉を建学の精神としている。本学は、宣教師マーガレット・ヤングによって興され、聖書に語られたパウロの言葉を建学の精神として120年にわたって守り続け、ミッションスクールとして保育者・介護者養成の使命を果たしてきた。

2. 法人の沿革

- 1898年 マーガレット・ヤング宣教師 名古屋市東区にて保母養成開始
- 1899 名古屋市東区白壁町に柳城幼稚園を開園
- 1910 保母養成所の名称を「柳城保母伝習所」と改称
- 1924 校名を「柳城保母養成所」と改称し愛知県の認可を受ける
- 1941 校名を「柳城保育専修学校」と改称
- 1950 校名を「柳城女子学院」と改称
- 1953 「柳城女子短期大学」設置認可を受ける
- 1978 柳城女子短期大学附属豊田幼稚園を開園
- 1996 法人名を「柳城学院」短大名を「名古屋柳城短期大学」と改称
- 1997 専攻科保育専攻を設置
- 1998 専攻科介護福祉専攻を設置
- 2000 名古屋柳城短期大学附属三好丘聖マーガレット幼稚園を開園
- 2005 附属瑞穂幼稚園廃園
- 2007 名古屋柳城短期大学保育科入学定員200名認可される

3. 設置する学校・学部・学科等(2017年5月1日現在)

- | | | | |
|--------|--------------------------|-----|-------|
| 学校法人 | 柳城学院 | 理事長 | 洪澤一郎 |
| [短期大学] | 名古屋柳城短期大学 | 学長 | 長縄年延 |
| | 名古屋市昭和区明月町2-54 | | |
| | 保育科 | | |
| | 専攻科保育専攻 | | |
| | 専攻科介護福祉専攻 | | |
| [幼稚園] | 名古屋柳城短期大学附属柳城幼稚園 | 園長 | 織田純代 |
| | 名古屋市東区白壁1-31 | | |
| | 名古屋柳城短期大学附属豊田幼稚園 | 園長 | 岡野尚子 |
| | 豊田市市木町3-19-7 | | |
| | 名古屋柳城短期大学附属三好丘聖マーガレット幼稚園 | | |
| | | 園長 | 児玉 文子 |
| | みよし市三好丘桜1-9 | | |

4、役員（理事・監事）に関する事項（2017年5月1日現在）

・理事 8名（定数8名） ・監事 2名（定数2名）

職名	氏名	常勤・非常勤
理事長	渋谷一郎	非常勤
理事	長縄年延	常勤
〃	新海英行	非常勤
〃	池田正毅	〃
〃	関 俣子	〃
〃	塚田一宣	〃
〃	中尾志朗	〃
〃	菊地伸二	常勤
監事	伊藤秀章	非常勤
〃	日野忠市	〃

5. 評議員に関する事項及び顧問（2017年5月1日現在）

・評議員 17名（定数17名） ・顧問 0名

6. 理事会・評議員会の開催状況

区分	開催日現在の状況		開催年月日 開催時間	出席者数等			監事の 出席状況
	定員	現員(a)		出席理事数(b)	実出席率 (b/a)	意思表示 出席者数	
理事会	8人	8人	平成29年4月27日 14:00~16:00	6人	75%	2人	2/2
		8人	平成29年5月29日 14:00~16:00	7人	87.5%	1人	1/2
		8人	平成29年5月29日 17:30~18:00	7人	87%	0人	1/2
		8人	平成29年6月26日 14:00~16:00	7人	87.5%	1人	1/2
		8人	平成29年7月20日 15:00~17:00	7人	87.5%	1人	2/2
		8人	平成29年8月10日 14:00~14:40	6人	75%	2人	2/2
		8人	平成29年9月4日 15:00~15:40	8人	100%	0人	2/2

理事会	8人	8人	平成29年9月25日 15:00~16:40	8人	100%	0人	2/2
		8人	平成29年10月23日 15:00~17:15	7人	87.5%	1人	2/2
		8人	平成29年11月20日 14:00~16:15	7人	87.5%	0人	2/2
		8人	平成30年1月15日 14:00~17:20	8人	100%	0人	2/2
		8人	平成30年2月19日 15:00~17:30	8人	100%	0人	2/2
		8人	平成30年3月26日 15:00~17:30	8人	100%	0人	2/2

区分	開催日現在の状況		開催年月日 開催時間	出席者数等			監事の 出席状況
	定員	現員 (a)		出席理事 数(b)	実出席率 (b/a)	意思表示 出席者数	
評議員 会	17人	17人	平成29年5月29日 16:30~17:30	16人	94.1%	1人	1/2
		17人	平成29年10月23日 13:00~13:30	11人	64.7%	5人	2/2
		17人	平成30年2月19日 14:30~14:50	17人	100%	0人	2/2
		17人	平成30年3月26日 14:00~15:00	16人	94.1%	0人	2/2

7. 教職員の状況（2017年5月1日現在）

	専任教員	特任教員	非常勤教員	専任職員	特任職員	非常勤職員 他
名古屋 柳城短期大学	20	1	21	17	1	10
短大附属 柳城幼稚園	7	0	7	/	/	2
短大附属 豊田幼稚園	7	0	9	/	/	4

短大附属三好丘 聖マカレト幼稚園	10	0	10			3
---------------------	----	---	----	--	--	---

8. 校地校舎面積等（2017年5月1日）

	校地	校舎
名古屋柳城短期大学	15,021㎡	6,917㎡
短大附属柳城幼稚園	1,219㎡	717㎡
短大附属豊田幼稚園	4,321㎡	1,356㎡
短大附属三好丘聖マカレト幼稚園	3,264㎡	1,557㎡

II 事業の概要

1. 2017年度（平成29年度）事業の概要

- 4月 3日（月） 短大入学式
- 4月10日（月） 附属豊田幼稚園入園式
- 4月11日（火） 附属柳城幼稚園・附属三好丘聖マカレト幼稚園入園式
- 4月17日（月） 幼児教育研究所「すくすく広場」スタート
- 4月20日（木）～21日（金）
短大1・2年・専攻科合同ゼミナール
- 5月10日（水） 後援会総会
- 6月10日（土） オープンキャンパス
- 6月24日（土）・7月1日（土）・7月8日（土）・7月16日（日）・7月
22日（土） 免許教員免許状更新講習開催
- 6月24日（土） 専攻科入試
- 6月26日（月） 聖公会保育連盟第1回常任理事会開催
- 7月 9日（日） ホームカミングデー
- 7月15日（土） オープンキャンパス
- 8月21日（月）～23日（水） 新生病院リトリート（学生派遣）
学生10名、教員4名
- 8月26日（土） オープンキャンパス
- 9月19日（火） 豊田幼稚園幼保連携型認定こども園化工事起工式
- 9月23日（土） AO入試
- 9月25日（月） 短大防災避難訓練
- 10月 7日（土） 三好丘聖マカレト幼稚園運動会
- 10月 8日（日） 豊田幼稚園運動会
- 10月14日（土） 柳城幼稚園運動会
- 10月14日（土） 公募制推薦A（専願）入試
- 10月21日（土） 専攻科入試

- 10月25日(水) 短大カフェ棟工事起工式
- 11月1日(水) 創立記念礼拝・記念行事・墓地礼拝
- 11月2日(木) 柳城祭
- 11月3日(祝) 柳城祭
柳城子どもフェスタ
手づくりキッズ紙芝居コンテスト表彰式
オープンキャンパス
- 11月11日(土) 指定校推薦入試
- 11月18日(土) 公募制推薦B(併願)入試
- 12月16日(土) 公募制推薦C(併願)入試
- 12月20日(水) クリスマス礼拝
- 1月13日(土)・1月20日(土)・2月3日(土)
愛知県保育士キャリアアップ研修「保健衛生」「安全対策」
- 1月27日(土) 一般入試A
- 1月28日(日) 一般入試B
- 2月3日(土) 専攻科入試
- 3月3日(土) 一般入試C
- 3月15日(木) 附属三好丘聖マカレト幼稚園卒園式
- 3月17日(土) 短大卒業式、修了式・附属柳城幼稚園卒園式
- 3月20日(火) 附属豊田幼稚園卒園式
- 3月24日(土) 短大スプリングオープンキャンパス

(1) キャンパス整備

学生満足度調査結果、また学生支援体制の整備、耐震補強を念頭に、キャンパス整備プランが練られた結果、昨年度新たにカフェ棟及び新号館新築、2号館1階及び1号館3階部分の改修が決定した。今年度更に計画を練り直し、11月よりカフェ棟(1階食堂、2階ラーニングcommons)建設が始まり、2018年3月末に完成を見た。新3号館建設、1号館耐震補強及び改修等全プランは2020年度完了の予定である。

(2) 豊田幼稚園の幼保連携型認定こども園化及び園舎改築

園舎の老朽化も進みつつある中、子ども子育て支援新制度に伴う豊田市の動向を受けて附属豊田幼稚園の幼保連携型認定こども園化について、開設後の運営に関する収支のみでなく、建替えや改築にかかる補助金額を勘案しながら、2019年度より幼保連携型認定こども園として新たなスタートをきることが決定され、今年度9月より第1期工事に入った。

(3) 私立大学等改革総合支援事業

「私立大学等改革総合支援事業」のタイプ1:大学教育の質的転換(建学の精神を生かした大学教育の質向上)に今年度も選定された。今年度は大学・短大合わせて665校が申請し、うち342校が選定された。今まで本学として

実施できていなかった項目、IRへの取り組み、教員の評価制度への取り組み等を進め、90点で申請することができ、選定基準79点をクリアした。これに選定されたことにより、経常費補助が加算された。今後も継続して更なる改革に取り組みたい。

(4) 自己申告制度の導入

教員・職員の評価規程の整備に合わせて、今年度も短大・幼稚園のすべての職員・非常勤について自己申告書を提出してもらい、面接を実施した。

(5) 創立120周年に向けて

120周年準備委員会がのもとに120周年史編纂委員会がおかれ120周年史編纂に向かって作業行われている。また120周年記念募金みに向けて準備に入った。

(6) 日常業務

準備を進めてきたWebを活用した新たな教学システムへの移行の第一段階、教員が直接学生情報にアクセスすることが可能となり、次年度からは第二段階として、学生も新システム利用可能になるよう準備を整えて行く。

学長直属の臨時組織「企画室」を設け、3部制、4年制大学設置等、今後の大学の在り方を積極的に検討した。

附属幼稚園(3園)については、園長会(毎月1回)を実施し、各園、短大での状況や問題点を共有し、連携した対応に努めた。

(7) マーガレット・ヤング基金

本年度末までに、延べ545名の方から寄付をいただき総額6,621,188円となった。次年度からは就学支援の必要な学生への給付型奨学金の原資として活用予定である。

(8) 新たな奨学金制度の創設

学生への学修奨励また経済的支援を充実させるために、新たに奨励奨学生・就学支援奨学生・特別活動奨励奨学生、そしてマーガレット・ヤング基金を活用するマーガレット・ヤング基金奨学金を創設した。

(9) 幼児教育研究所の充実

従来行ってきた昭和生涯学習センターとの共催で行ってきた子育て支援講座に加え、今年度より本学独自の子育て支援活動として体制を整え「すくすく広場」をスタートさせ、好評を得た。

2. 学校の入学定員・学生数の状況（2017年5月1日現在）

名古屋柳城短期大学	入学定員	1年生	2年生	合計	収容定員
保育科	200	176	202	378	400
専攻科保育専攻	30	8	5	13	30
〃 介護福祉専攻	30	5		5	30

この10数年、受験者数は若干の増減を繰り返しながらもほぼ横ばいを続けてきたが、2015年度はついに入学定員を50名下回るという緊急事態になったが、2016年は211名と入学定員を確保することが出来た。しかし2017年度は再び定員を割り、176名にとどまった。120年の伝統ときめ細かい教育体制、高い就職率を今後もアピールして学生の確保に努めたい。なお、専攻科介護専攻は社会的な必要性は十分認識しつつも、保育系短大の卒業者という限られた条件下での学生募集の困難もあり、2018年度をもって終了することとなった。

附属幼稚園	定員	満3歳児	3歳児	4才児	5才児	合計
柳城幼稚園	120	0	28	26	28	82
豊田幼稚園	200	2	63	51	69	185
三好丘聖マーガレット幼稚園	180	2	46	61	45	154

附属幼稚園はそれぞれに地域性があり、地域の特性や課題を上手くとらえ、保育に活かしていくことが求められているが、どの園においてもキリスト教主義をベースとした本学院の特色ある教育を積極的にアピールして、地区内のシェアを高めるよう努力している。なお、三好丘聖マーガレット幼稚園で満3歳児の受入が本格化してきたこともあり、年長～年少のクラス定員を減らし、総定員を維持することにより、次年度より満3歳児クラスの開設の認可を得ることができた。また豊田幼稚園は幼保連携型こども園化に向けて園舎の改築工事に入り、1期工事を終了した。

3. 短期大学卒業生の進路（2018年3月卒業生）

	保育科	専攻科保育専攻	専攻科介護専攻	短期大学全体
卒業者	198	5	4	207
就職希望者	169	5	4	178
就職者	169	5	4	178
進学者	27			27
就職希望無	2			2

この年度も就職内定率は100%であった。保育園就職者が全体の42.1%、幼稚園就職者が38.2%と保育園就職者が幼稚園就職者を上回った。またこども園の割合が、15%と倍増した。また公務員合格者25名と昨年を1名上まわった。また進学者27名中25名は本学専攻科への進学である。

4. 学納金等

【短期大学】

	保育科		専攻科保育専攻		専攻科 介護福祉専攻
	1年次	2年次	1年次	2年次	
入学金	250,000円		200,000円		200,000円
教育充実費	300,000円	300,000円	100,000円	100,000円	200,000円
授業料	750,000円	750,000円	550,000円	550,000円	650,000円
実習費					200,000円
計	1,300,000円	1,050,000円	850,000円	650,000円	1,250,000円

【附属幼稚園】

	柳城	豊田	三好丘聖マカレット
入園料	40,000円	満3歳児・3歳児 40,000円 4・5才児 35,000円	3歳児 40,000円 4・5才児 30,000円
施設費	25,000円	月額2,000円	20,000円
授業料	満3歳児月額25,000円 3歳児月額22,000円 4・5才児 20,000円	満3・3歳児月額19,000円 4・5才児 16,000円	3歳児月額23,000円 4・5才児 21,000円
教育充実費		月額3,000円	

5. 教育課程に関する情報

教育理念・目標

名古屋柳城短期大学（以下、本学という）は1世紀余にわたる保育者養成の歴史と伝統を誇り、多くのすぐれた保育者を、そして近年では有用な介護福祉士を輩出してきた。「建学の精神」は、こうした歴史と伝統を築いてきた精神的支柱であったし、現在もそうあり続けている。

「建学の精神」は、「愛をもって仕えよ」（「新約聖書」ガラテヤの信徒への手紙第5章13節）である。愛はイエス・キリストが私たちに示された最高の教えであり、キリスト教の根幹である。幼児教育・保育や介護福祉の道を志す者は、子ども、高齢者、そして障がい者に何よりも「愛をもって仕える」人間・市民として、あるいは専門家として成長し、それぞれの社会で先導的な役割を大いに発揮することが期待されている。

本学では、そうした有為な人材の養成のために、キリスト教精神・価値観に積極的に学びながら21世紀に生きる人間として、また市民・職業人として必須の教養を身につけ、多様化・高度化する社会的ニーズに対応した保育や介護の知識・技能を育成する教育を目指している。上述の教育理念・目標にもとづいて、本学における基本的な教育方針を設定する。

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

【保育科】

本科（2年課程）では、本学の「建学の精神」を基本にすえたキリスト教主義の教育理念・教育目標にもとづいて、人間として、また社会人として必要な倫理観と教養を身につけ、幼児教育・保育に関する幅広い知識・技能を修得し、総合的かつ的確な判断力や実践的専門能力を有する幼稚園教諭（二種免許）ならびに保育士の養成を目指す。所定の授業科目を履修し、以下の教養と知識・技能を修得した者には、「短期大学士（保育学）」を授与する。

1. 豊かな倫理観（道徳的価値観）や人間性（人間的感性や人格）、コミュニケーション能力（自他認識能力や言語等による表現力）を有し、**乳幼児の生命を守る**、幼稚園教諭・保育士として責任ある行動ができる、その基盤となる教養
2. 社会や保護者のニーズに対応できる幼児教育・保育に関する専門知識（科学的理解力）
3. 多様化・高度化する21世紀の社会状況に対応できる幼児教育・保育の専門家としての技能（実践的問題発見・解決能力）
4. 生涯にわたって幼児教育・保育への関心と学習意欲を持続し、幼児教育・保育の発展に貢献しようとする意欲・態度（キャリア形成力）

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【保育科】

本科では、本学の「建学の精神」にもとづくキリスト教主義の教育理念・目標に従ってすぐれた保育者（幼稚園２種免許教諭ならびに保育士）を養成するために、豊かな倫理観や人間性を培い、幼児教育・保育に関する専門的知識・技能を育て、２１世紀社会の動向（とくに幼児教育・保育をめぐる問題点や課題）を的確にとらえ、課題解決に適切に対処するとともに、生涯にわたって学習・実践への意欲を持続できるように、そのために必要な教育課程を編成している。

本科の教育課程は、教養科目と専門科目から構成されている。いずれも固有の特色を有するものであることは言うまでもない。しかし、それぞれの科目はつながりをもって働きあうことも軽視されてはならない。教養科目が専門的知識・技能を補い、専門科目が教養を高めるうえで有益・有効であり、また教養科目内の科目が相互に関連しあい教養をいっそう深め、専門科目内の科目が結びつくことによって個別の専門的知識・技能をさらに強化することもけっして稀ではないからである。また、本科では実習など実践現場での体験的学習のみならず、すべての科目をとおして職業的資質能力の育成を中心とするキャリア形成のための教育指導を行う。教育課程の主要な構成、教育形態、及びその評価は以下のとおりである。

1. 教育課程の構成

(1) 教養科目

- ①人間性や社会性を中心とする教養に関する科目群（「キリスト教概論」、「宗教学（聖書と人間）」、「日本国憲法」、「環境と人間」、「倫理学（生きることの意味）」等）
- ②学習・研究のための言語・情報系科目群（「英語コミュニケーション」、「情報機器の操作等」）
- ③保健体育系科目群（「生涯体育論」、「スポーツとエクササイズ」）

(2) 専門科目

- ①子どもの心身の発達過程に関する科目群（「心理学」系、「保健」系、「栄養」系の科目）。
- ②保育内容の指導のあり方に関する科目群（「保育内容指導法」系の科目）
- ③保育の技術や技能に関する科目群（「音楽」、「図画工作」、「体育」等）
- ④福祉の意義や課題に関する科目群（「社会福祉」、「児童福祉」、「障がい児保育」等）
- ⑤人間教育のあり方に関する科目群（「教育原理」、「教育と社会」、「教育方法・技術」等）
- ⑥教育相談・カウンセリングに関する科目群（「保育臨床心理学」等）
- ⑦科目の枠を超えた横断的な課題、学習者の関心にもとづく課題についての問題解決学習的な科目群（「教職実践演習」）

⑧保育の実践に関する科目群（「教育実習」、「保育実習」等）

2. 教育形態とその特色

主要な教育形態は、①講義、②演習、③実習の3種類から構成されている。講義は教養科目及び一部の専門科目であり、多くは演習及び実習である。「保育基礎演習」では、保育者となるための動機づけと意欲を喚起し、主体的な授業参加を促している。そのほかの多くの演習では、理論と実践を結合し、問題解決的で能動的な学習能力と実践力の育成を目指し、実習では、幼稚園・保育所で保育実践・体験的学習に取り組むことによって自発的な学習能力と実践力の育成をはかっている。いずれも予めシラバスにおいて、学習目標、目標達成のための授業の計画・方法、成績評価基準等について明示している（『学生便覧』）。さらに本科では、附属幼稚園と連携し園長・教諭を講師として招へいし、また多人数の演習ではTAを活用するなど、より丁寧な実践的指導ができるように配慮している。

入学者に関する受入方針（アドミッション・ポリシー）

○本学の入学者に関する受入方針

- ・本学の教育理念及び教育目標に基づき、本学では以下のような学生を求める。
- ・建学の精神「愛をもって仕えよ」と、それに即した教育目標を理解し、専門的な知識と高度な技術の修得に自ら努めようとする人
- ・人間に対する深い理解と豊かな人間性を身につけ、人とのつながりを大切にしようとする人
- ・他者への思いやりを持ち、社会や環境に貢献しようとする人

○保育科の入学者受入方針

- ・幼稚園教諭・保育士としての将来の目的意識をはっきりと持っている人
- ・子どもの成長・発達に関わる専門的な知識・高度な技術を身につけようとする人
- ・明朗快活でコミュニケーション能力と協調性に富み、子どもたちから慕われ魅力ある人
- ・乳幼児の生命を守る責任ある行動ができる幼稚園教諭・保育士をめざし、保育・幼児教育に貢献しようとする人
- ・高等学校等の学習を通して基礎学力を身につけており、かつ正確できれいな日本語を書いたり話したりすることを常に心がけている人

6. 学修の成果に係わる評価及び卒業認定に当たっての基準に関する情報

教育課程の評価

教育課程の成否を決定する大きな要因はその評価のあり方である。本科では、主に教務委員会やFDの取組において、教育評価をPDCAマネジメント・サイクル（教育課程の計画、実施、点検・評価）の一環として位置づけ、保育専門職

として必要な専門性と学生の学習能力の発達過程・段階を十分に勘案しつつ、学習達成目標や成績評価基準を厳格に設定し、そうした目標の達成状況などの自己点検・評価の結果を次年度以降の教育課程の改善・見直し、さらには教育計画の改革に反映している。なお、教育課程の点検・評価の結果は、その概要を学内外に公表している（『名古屋柳城短期大学の現状と課題』）。

卒業認定

（卒業の要件）

第21条 本学に2年以上在学し、第10条に定める授業科目を履修し、かつ、第13条に規定する所定の単位を修得した者に対し、教授会の議を経て、学長は卒業を認定する。

（学位の授与）

第22条 前条の規定により卒業した者には、本学学位規定の定めるところにより短期大学士(保育学)の学位を授与する。

（取得資格）

第23条 本学において取得することができる免許及び資格の種類は、次のとおりとする。

幼稚園教諭二種免許状

保育士資格

7. 学生支援と奨学金

- 1) 就職オリエンテーションは、保育科1年の後期から2年の前期までの1年間を通じて実施。内容は、採用試験の時期、採用試験内容とその対策、マナー、自己分析、履歴書の書き方、面接のしかた、受験手続き、試験に臨むに当たっての心構え等、多岐にわたっている。さらに、外部から講師を招聘しての特別実技講座や、公務員を目指す学生対象の一般教養対策講座や模擬試験も実施している。
- 2) 就職資料室には、進路選択に役立つ資料をたくさん揃えて、学生をサポートしている。卒業生の就職先や試験問題、園毎にパンフレットや過去の求人票、卒業生の試験報告書等が個別にファイルされており、職場選択や就職対策に役立っています。
- 3) 就職課では、個人面談や個別の就職試験対策指導も重視し、職場を選ぶに当たっての相談や参考資料の提供、試験内容に対するアドバイス、受験手続きの援助など、一人ひとりの思いを尊重し、その希望をかなえることができるよう支援している。さらに、アドバイザーも、担当する学生の様々な相談に応じ、就職の手助けができる体制を整えている。
- 4) 本学にはアドバイザー制度があり、学生はまずアドバイザーとの関わりの中で問題を解決するよう奨励している。このシステムの中で、本学においては全教員が直接的・間接的に学生相談に関わっている。しかし、他の視点からのア

ドバイスを求めたい場合などには、学生相談室を利用することができるようになっている。学生相談室担当のスタッフは、看護師・臨床心理士などで構成されており、学生の様々の相談に対応している。

5) 本学独自の奨学金

独立行政法人日本学生支援機構法に基づき、経済的理由により修学に困難がある学生に学資として貸与される奨学金のほかに、本学独自のものとして名古屋柳城短期大学百周年記念奨学金により家庭の経済的事情により修学が困難となった場合に奨学金を貸与する制度及び学修成績の優れた学生に支援を行う給付奨学金制度があったが、今年度新たな奨学金制度を創設し、以下の通り整備した。

- ・マーガレット・ヤング基金給付奨学金：学業成績が優秀かつ向学のあるにもかかわらず、経済的に困窮している学生に給付
- ・奨励奨学生：学業成績が極めて優秀な学生に給付
- ・緊急奨学生：学業成績が優秀かつ向学のあるにもかかわらず、家計の急変により学業の継続が困難と認められる学生の給付
- ・就学支援奨学生：学業成績が優秀かつ向学のあるにもかかわらず、経済的に困窮している学生に給付
- ・特別活動奨励奨学金：学内外における諸活動で成果を上げた学生に給付

Ⅲ 財務の概要

1. 資金収支計算書
2. 事業活動収支計算書
3. 貸借対照表
4. 財産目録

1) 収支の状況

短大においてこの年度の入学者は176名で、専攻科を含む学生総数は396名にとどまった。2017年度の事業活動収入は附属豊田幼稚園園舎改築補助金164,309千円を含み、997,963千円、事業活動支出982,872千円、基本金組入前当年度収支差額では86,868千円となった。教育活動による資金収支差額は34,883千円、事業活動における教育活動収支差額は△47,991千円であった。人件費割合は経常収入の減少により63.9%と増加した。財政安定のためにも、次年度以降も、定員確保による収入の安定が何より課題となる。また、繰越支払い資金は1,383,570千円で、資金の増減としては、短大カフェ棟建設・附属豊田幼稚園園舎改築1期工事を行ったため、前年比258,288千円の減少となった。

2) 貸借対照表の状況比率

総資産額は4,292,353千円となり前年対比243,825千円増加した。固定負債は借入金返済等で11,905千円減少した。流動負債は建設工事関係未払金があり168,952千円と増加した。基本金は1号基本金が203,464千円増加した。従って自己資本＝純資産（総資産－負債）は3,871,675千円となり、純資産構成比率（自己資本比率）は90.2%、また固定比率（固定資産÷純資産）は70.7%となった。なお、流動資産は1,551,959千円で、流動資産総額のその89.1%が現預金である。現金保有率が高いのは、将来に向けての投資余力を準備しておくためである。なお、本学ではデリバティブ投資は行っていない。

資金収支計算書

収入の部					単位: 円
科目	2013年度(H25)	2014年度(H26)	2015度(H27)	2016度(H28)	2017度(H29)
学生生徒納付金収入	624,407,240	586,908,980	510,405,160	526,428,980	519,706,660
手数料収入	13,354,550	11,105,450	11,692,650	10,212,400	9,499,950
寄付金収入	9,014,325	12,969,970	9,239,443	7,077,046	6,997,270
補助金収入	330,652,256	242,484,700	243,474,588	261,007,486	400,894,106
国庫補助金収入	192,735,000	85,229,000	72,742,000	95,176,000	76,018,000
地方公共団体補助金収入	137,317,256	157,255,700	170,652,588	165,801,486	324,831,106
その他補助金収入	600,000		80,000	30,000	45,000
資産売却収入	1,014,036,260	1,013,128,408	1,048,901,173	1,783,135	1,656,165
付随事業・収益事業収入	44,156,364	42,510,571	42,614,614	44,572,826	46,325,665
受取利息・配当金収入	5,075,072	5,669,677	1,516,533	491,355	106,939
雑収入	2,189,999	33,910,879	21,571,406	14,260,498	7,307,808
前受金収入	63,810,000	58,777,000	74,453,000	61,407,000	46,120,000
その他の収入	42,653,402	112,979,077	45,326,055	18,145,217	26,938,618
資金収入調整勘定	▲182,296,070	▲106,050,554	▲74,795,429	▲98,335,618	▲229,203,575
前年度繰越支払資金	1,398,507,228	1,375,147,510	1,588,155,913	1,615,730,158	1,641,858,628
収入の部合計	3,365,560,626	3,389,551,668	3,522,555,106	2,462,780,483	2,478,208,234
支出の部					単位: 円
科目	2013年度(H25)	2014年度(H26)	2015度(H27)	2016度(H28)	2017度(H29)
人件費支出	481,769,795	531,786,540	529,335,522	526,859,797	529,276,257
教育研究経費支出	170,926,215	171,808,681	183,874,486	158,862,572	196,190,191
管理経費支出	59,865,271	53,516,314	56,668,557	71,149,782	71,610,256
借入金利息支出	952,335	797,625	642,915	488,205	333,495
借入金返済支出	9,270,000	9,270,000	9,270,000	9,270,000	9,270,000
施設関係支出	240,970,508	2,063,375	52,613,339	38,011,187	450,240,382
設備関係支出	14,791,636	17,649,226	9,237,932	40,919,167	20,588,121
資産運用支出	1,013,647,763	1,013,129,115	1,065,113,684	1,200,434	1,200,290
その他の支出	14,576,572	16,010,394	14,140,222	13,702,077	19,262,180
資金支出調整勘定	▲16,356,979	▲14,635,515	▲14,341,709*	▲39,541,366	▲203,333,109
次年度繰越支払資金	1,375,147,510	1,588,155,913	1,615,730,158	1,641,858,628	1,383,570,171
支出の部合計	3,365,560,626	3,389,551,668	3,522,555,106	2,462,780,483	2,478,208,234

事業活動収支計算書						
単位:円						
教育活動収支	事業活動収入の部	科目	2015年度	2016年度	2017年度	
		学生生徒納付金	510,405,160	526,428,980	519,706,660	
		手数料	11,692,650	10,212,400	9,499,950	
		寄付金	7,049,443	6,515,086	6,797,470	
		経常費等補助金収入	241,413,588	247,766,486	236,585,106	
		国庫補助金収入	70,681,000	81,935,000	76,018,000	
		地方公共団体補助金収入	170,652,588	165,801,786	160,522,106	
		その他補助金収入	80,000	30,000	45,000	
		付随事業収入	42,614,614	44,572,826	46,325,665	
		雑収入	21,571,406	14,260,498	9,639,500	
	教育活動収入計	834,746,861	849,756,276	828,554,351		
	事業活動支出の部	科目	2015年度	2016年度	2017年度	
		人件費支出	523,479,607	527,873,552	529,276,257	
		教育研究経費	261,899,286	236,177,976	273,400,656	
		管理経費	58,659,329	73,322,183	73,868,401	
徴収不能額等		112,020	0	0		
教育活動支出計		844,150,242	837,373,711	876,545,314		
教育活動収支差額	▲9,403,381	12,382,565	▲47,990,963			
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	2015年度	2016年度	2017年度	
		受取利息・配当金	1,516,533	491,355	106,939	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育外活動収入	15,165,335	491,355	106,939	
		事業活動支出の部	科目	2015年度	2016年度	2017年度
	借入金等利息	642,915	488,205	333,495		
	その他の教育活動外支出	0	0	0		
	教育外活動支出	642,915	488,205	333,495		
	教育活動外収支差額	873,618	3,150	▲226,556		
	経常収支差額	▲8,529,763	12,385,715	▲48,217,519		
特別収支	事業活動収入の部	科目	2015年度	2016年度	2017年度	
		資産売却差額	0	367,115	0	
		教育研究用機器備品売却差額	0	367,115	0	
		その他の特別収入	5,831,465	13,871,000	165,028,046	
		施設設備寄附金	2,190,000	630,000	199,800	
		現物寄付	1,580,465	0	519,246	
		施設設備補助金	2,061,000	13,241,000	164,309,000	
		特別収入計	6,381,464	14,238,115	165,028,046	
		事業活動支出の部	科目	2015年度	2016年度	2017年度
			資産処分差額	1,325,778	2,641,992	29,942,110
	建物処分差額			1,492,322	25,917,321	
	構築物処分差額		1	207,621	2,905,376	
	教育研究用機器備品処分差額		33	689,633	525,601	
	管理用機器備品処分差額		0	0	35,493	
	図書処分		1,325,760	252,416	558,319	
	車両		0	0	0	
	その他の特別支出		0	0	0	
	特別支出計		1,325,796	2,641,992	29,942,110	
	特別収支差額	5,055,668	11,596,123	135,085,936		
	基本金組入前当年度収支差額	▲3,474,077	23,981,838	86,868,417		
基本金組入額	▲60,046,747	▲43,327,249	▲263,783,146			
当年度収支差額	▲63,520,824	▲19,345,411	▲176,914,729			
前年度繰越収支差額	170,866,672	107,615,490	88,355,079			
基本金取崩額	269,642	85,000	60,318,953			
翌年度繰越収支差額	107,615,490	88,355,079	▲28,240,697			
事業活動収入計	842,644,858	864,485,746	993,689,336			
事業活動支出計	846,118,935	840,503,908	906,820,919			

貸借対照表

単位:円

	2013年度(H25)	2014年度(H26)	2015年度(H27)	2016年度(H28)	2017年度(H29)
【資産の部】					
固定資産	2,452,556,687	2,389,301,289	2,387,443,725	2,381,922,736	2,740,393,890
有形固定資産	2,278,327,687	2,216,031,582	2,198,125,387	2,194,994,899	2,556,931,928
土地	674,469,281	674,469,281	724,469,281	724,469,281	724,469,281
建物	1,323,989,119	1,272,079,423	1,222,626,991	1,194,581,758	1,367,411,921
構築物	35,121,110	31,365,797	28,292,468	31,991,442	129,234,022
教育研究用機器備品	88,586,967	84,143,762	67,830,074	79,749,982	74,470,633
その他の機器備品	6,347,717	4,354,774	2,678,573	5,820,387	8,320,115
図書	146,938,731	148,490,563	149,639,704	151,769,188	152,937,502
車両	2,874,762	1,127,982	2,588,296	2,033,661	1,479,026
建設仮勘定	0	0	0	0	98,609,428
特定資産			31,160,410	30,180,844	28,371,134
奨学金特定預金			31,160,410	30,180,844	28,371,134
その他の固定資産	174,229,000	173,269,707	158,157,928	156,746,993	155,090,828
施設利用権	27,422	3,422	2	2	2
電話加入権	1,151,837	1,151,837	1,151,837	1,151,837	1,151,837
有価証券	142,742,540	141,227,132	156,783,459	155,367,524	153,711,359
奨学金特定預金	29,918,111	30,674,226	0	0	0
出資金	0	0	0	0	0
保証金	389,090	213,090	222,630	227,630	227,630
奨学金貸付	0	0	0	0	0
流動資産	1,487,966,222	1,632,140,617	1,632,895,609	1,666,124,495	1,551,959,581
現金預金	1,375,147,510	1,588,155,913	1,615,730,158	1,641,858,628	1,383,570,171
未収入金	111,331,070	42,240,554	15,906,409	23,882,618	167,796,575
貯蔵品	17,500	1,000	1,000	0	
仮払金	11,875	322,560	48,808	0	
立替金	4,200	0	176,463	207,000	171,000
1年以内回収予定奨学金貸付金	0	0	0	0	
前払金	1,454,067	1,420,590	1,032,771	657,322	421,835
資産の部合計	3,940,522,909	4,021,441,906	4,020,339,334	4,048,528,304	4,292,353,471

	2013年度(H25)	2014年度(H26)	2015年度(H27)	2016年度(H28)	2017年度(H29)
【負債の部】					
固定負債	185,436,936	171,395,326	156,469,411	148,213,166	155,944,122
長期借入金	41,910,000	32,640,000	23,370,000	14,100,000	4,830,000
退職給与引当金	143,526,936	138,755,326	132,899,411	133,913,166	131,581,474
長期預り保証金			200,000	200,000	200,000
長期未払金				19,726,416	19,332,648
流動負債	91,027,485	85,747,137	103,044,557	115,507,934	264,733,728
短期借入金	9,270,000	9,270,000	9,270,000	9,270,000	9,270,000
未払金	14,269,119	13,181,448	12,921,119	18,782,179	203,069,555
前受金	63,850,000	58,777,000	74,453,000	61,407,000	46,120,000
預り金	3,438,366	4,318,689	6,400,438	6,322,339	6,274,173
預かり保証金	200,000	200,000	0		
負債の部合計	276,464,421	257,142,463	259,513,968	263,721,100	420,677,850
【基本金の部】					
第1号基本金	3,516,809,358	3,536,432,771	3,596,209,876	3,623,750,556	3,842,916,318
第4号基本金	57,000,000	57,000,000	57,000,000	57,000,000	57,000,000
基本金の部合計	3,573,809,358	3,593,432,771	3,653,209,876	3,680,750,556	3,899,916,318
【繰越収支差額】			107,615,490	103,575,575	▲ 28,240,697
翌年度繰越消費収入超過額	90,249,130	170,866,672			
翌年度繰越消費支出超過額					
消費収支差額の部合計	90,249,130	170,866,672			
純資産の部合計	3,664,058,480	3,764,299,443	3,760,825,366	3,784,807,204	3,871,675,621
負債の部、および純資産の部合計	3,940,522,909	4,021,441,906	4,020,339,334	4,048,528,304	4,292,353,471

財 産 目 録		
		単位：円
		平成30年3月31日現在
1. 資 産 の 部		4, 292, 353, 471
一 基本財産		
1 土 地		724, 469, 281
2 建 物		1, 367, 411, 921
3 構 築 物		129, 234, 022
4 図 書		152, 937, 502
5 教育用機器備品		74, 470, 633
6 その他の機器備品		8, 320, 115
7 そ の 他		2, 858, 495
8 有 価 証 券		153, 711, 359
9 建設仮勘定		98, 609, 428
二 運用財産		
1 預金、現金		1, 383, 570, 171
2 奨学金特定預金		28, 371, 134
3 未 収 入 金		167, 796, 575
4 そ の 他		592, 835
2. 負 債 の 部		420, 677, 850
一 固定負債		155, 944, 122
1 長期借入金		4, 830, 000
2 退職金引当金		131, 581, 474
3 長期預り保証金		200, 000
3 長期未払金		19, 332, 648
二 流 動 負 債		264, 733, 728
1 短期借入金		9, 270, 000
2 前 受 金		46, 120, 000
3 未 払 金		203, 069, 555
4 預 り 金		6, 274, 173
3. 差引正味財産		3, 871, 675, 621
上記は本学院の財産目録に相違ありません。		
平成30年5月28日		
学 校 法 人 柳 城 学 院		
理 事 長 洪 澤 一 郎		